

検討課題 就学前教育・保育の基本的な考え方

1. 台東区の就学前教育・保育の現状

(1) 台東区の就学前教育・保育の現状

区立幼稚園の現状 (金竜幼稚園)

私立幼稚園の現状 (寛永寺幼稚園)

区立保育園の現状 (千束保育園)

私立保育園の現状 (立華学苑)

認定こども園の現状 (石浜橋場こども園)

認定こども園の現状 (ことぶきこども園)

(2) 就学前教育・保育にかかる台東区教育委員会の取組み

児童保育課の教育委員会への移管

保護者の就業形態や子どもの保育状態にかかわらず、幼児期においては発達段階に応じた保育・教育を着実にやっていくことが重要であるとの認識に立ち、幼稚園と保育園双方の教育内容などを見直し、さらなる幼児教育の充実を図るため、平成21年4月に保育園と保育園を所管する児童保育課を区民部から教育委員会に移管した。

これにより、児童保育課に保育指導担当を配置し保育園に対する指導支援体制を整備した。また、幼稚園・保育園合同講演会等を平成22年度・23年度には2回ずつ実施するなど、教員と保育士の交流の機会を設けている。

「台東区幼児教育共通カリキュラム」の策定と活用(教育改革担当)

・・・ 別紙資料2

認定こども園の開設（学務課）

平成14年4月	区立石浜幼稚園と区立橋場保育園において、幼保一体化にむけたモデル園の実施
平成16年4月	幼保一体化園として本格実施
平成20年4月	幼保連携型の「石浜橋場こども園」を開設
平成21年4月	旧済美小学校跡地に公設民営の保育所型の「ことぶきこども園」を開設
平成26年4月	台東幼稚園及び隣接するスペースを一体化した公設民営の「(仮称)第三認定こども園」を開設予定

認可保育所の開設等（児童保育課）

待機児童の解消を目指した「台東区保育所等整備計画」に基づき、認可保育所の開設と認証保育所の誘致を行った。

平成22年11月	(認可保育所) ゆらりん竹町保育園 開設
平成23年4月	(認証保育所) スターキッズ谷中 開設
平成24年4月	(認証保育所) ぼけっとランド浅草 開設予定

2. 台東区の就学前教育・保育の課題

(1) 幼少人口の増加

台東区の0歳～5歳児人口は年々増加している。この傾向は今後しばらく続くものと見られ、平成27年には7千人を越えると予測している。

就学前人口の年次推移

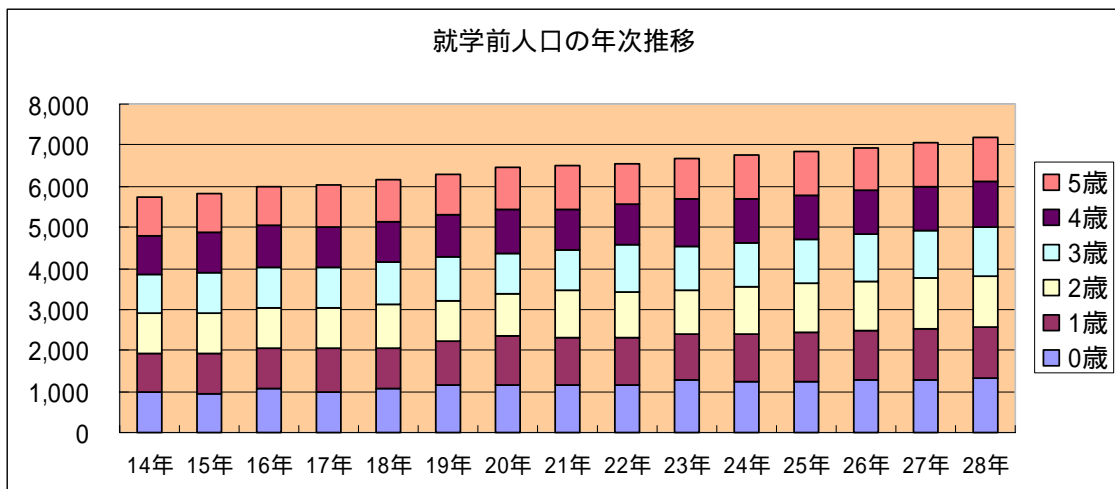
各年4月1日現在

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	総数
14年	986	939	990	947	942	920	5,724
15年	935	1,011	961	1,002	954	942	5,805
16年	1,067	967	1,004	987	1,004	962	5,991
17年	973	1,083	984	981	984	1,016	6,021
18年	1,054	1,005	1,073	1,006	994	1,009	6,141
19年	1,168	1,057	1,001	1,066	1,013	991	6,296
20年	1,159	1,176	1,039	996	1,063	1,010	6,443
21年	1,156	1,145	1,168	995	969	1,056	6,489
22年	1,164	1,130	1,112	1,155	995	979	6,535
23年	1,270	1,120	1,078	1,082	1,137	988	6,675
24年	1,221	1,182	1,147	1,086	1,059	1,080	6,776
25年	1,247	1,207	1,173	1,099	1,056	1,052	6,833
26年	1,267	1,232	1,198	1,123	1,069	1,049	6,938
27年	1,288	1,252	1,223	1,147	1,093	1,061	7,064
28年	1,307	1,272	1,243	1,171	1,116	1,086	7,194

住民基本台帳による。

単位：人

平成24年以降の数値はコーホート要因法による推計値。



(2) 待機児童対策

平成22年度から26年度までの5年間を計画期間とした「台東区保育所等整備計画」を策定し、待機児童の解消に取り組んでいる。

整備計画

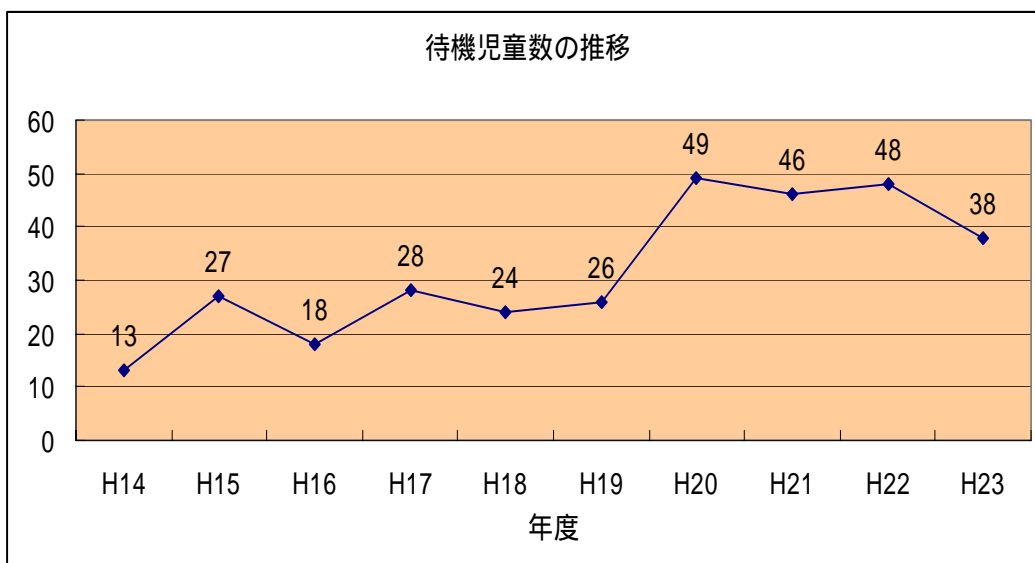
- ・千束保育園大規模改修による定員拡大
...98人 105人(0歳児受入開始)
- ・台東保育園大規模改修による定員拡大...検討中
- ・学校跡地や既存施設を活用した保育園の整備...検討中
- ・第三認定こども園の開設(平成26年4月開設予定)
- ・家庭福祉員(保育ママの確保)
...平成22年4月1日現在7人 目標10人
- ・病後時保育の拡充...実施1園(マミーズハンド三ノ輪)
- ・一時保育の拡充...実施園4園(受入定員各園 5名)

待機児童数の推移

各年4月1日現在

年度	H14	H15	H16	H17	H18
待機児童数	13	27	18	28	24

年度	H19	H20	H21	H22	H23
待機児童数	26	49	46	48	38



(3) 配慮を要する子どもへの対応

現在、全ての幼稚園・保育園・こども園において障害児の入園は可能であるが、保育上配慮が必要な子どもの入園が増加している。

区立幼稚園については、就園にあたって「就園相談委員会」を開催し、障害児等の支援方法について検討しているが、その相談件数は増加傾向である。

保育園では、障害児等の受け入れにあたっては、保育審査会（年2回）を開催し、入所の可否並びに処遇及び保育方法についての検討・指導を行っている。

今後、特別支援教育の推進に伴って障害のある子どもの入園が増加していくことが予想され、支援態勢の更なる充実が求められる。

幼稚園等で障害児や配慮を要する子どもの入園を円滑にするためには、障害児等が入園した場合の支援員等の人員配置や幼稚園教諭・保育士等の資質の向上を図ることが必要である。

同時に、幼稚園・保育園・こども園と障害児の専門機関である療育機関とが連携し、それぞれの特性を生かした支援を行うことが更に求められている。

(4) 保護者負担の軽減

台東区では、私立幼稚園と区立幼稚園、私立保育園と区立保育園が共存し、区の就学前教育・保育をともに支える体制をとっている。

この体制を安定的に維持していくために、保護者が私立幼稚園を利用する際の経済的負担を軽減する保育料の補助制度や、認可保育園と認証保育所の利用者の保育料負担の均衡を図ることを目的とした保育料助成制度など、私立幼稚園保護者や認証保育所利用者への補助を実施している。

私立幼稚園保育料の保護者補助（平成23年度）

区民税所得割	就園奨励費補助金 (国)	負担軽減補助金 (東京都)	保護者補助金 (台東区)	就園奨励特別補助金		合計 (年額)
				(東京都)	(台東区)	
34,500円以下 (年収360万円以下)	(年額)109,200円	(月額)4,500円 (年額)54,000円	(月額)7,700円 (年額)92,400円			255,600円
183,000円以下 (年収680万円以下)	(年額)46,800円	(月額)3,500円 (年額)42,000円	(月額)7,700円 (年額)92,400円	(年額)10,300円	(年額)5,100円	196,600円
216,700円以下		(月額)2,400円 (年額)28,800円	(月額)7,700円 (年額)92,400円			121,200円
所得制限なし			(月額)7,700円 (年額)92,400円			92,400円

第一子に対する補助の例（第二子以降については補助金額が異なる）

私立幼稚園保育料...（全国平均・年額）305,000円（文部科学省平成24年度予算資料より）

台東区立幼稚園保育料...（年額）60,000円

認証保育所保育料助成制度

認証保育所利用者に対し、認可保育園利用者との保育料負担の均衡を図るため、保育料を負担している保護者に助成を行う。

対象児童が認可保育園に入所した場合の保育料（A）と、認証保育所と契約した基本時間の保育料（B）（延長保育料等は除く）を比較し、その差額に応じて助成する。

認証保育所の保育料（B） - 認可保育園の保育料（A） = 保育料の差額

保育料の差額（月額）	助成金額（月額）
5,000 円未満	0 円
5,000 円以上 10,000 円未満	5,000 円
10,000 円以上 15,000 円未満	10,000 円
15,000 円以上 20,000 円未満	15,000 円
20,000 円以上	20,000 円

（5）幼稚園・保育園・こども園と小学校の連携

幼稚園・保育所での生活から学校生活へとスムーズに移行できず、心身に変調をきたす児童が出たり学級が荒れたりする、いわゆる「小1プロブレム」の課題などを背景に、幼児期の教育を担う保育所や幼稚園等と小学校との連携の重要性が増してきている。平成20年3月告示の幼稚園教育要領と保育所保育指針には、小学校との連携の推進に関する内容が盛り込まれ、小学校学習指導要領においても、幼稚園に加え保育所との連携が明記されている。

【幼稚園教育要領】

第3章 指導計画及び教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動などの留意事項

第1 指導計画の作成に当たっての留意事項

2 特に留意する事項

（5）幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続のため、幼児と児童の交流の機会を設けたり、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会を設けたりするなど、連携を図るようにすること。

【保育所保育指針】

第4章 保育の計画及び評価

1 保育の計画

（三）指導計画の作成上、特に留意すべき事項

エ 小学校との連携

（ア）子どもの生活や発達の連続性を踏まえ、保育の内容の工夫を図るとともに、就学に向けて、保育所の子どもと小学校の児童との交流、職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図るよう配慮すること。

【小学校学習指導要領】

第1章 総則

第4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項

2 以上のほか、次の事項に配慮するものとする。

(12) 学校がその目的を達成するため、地域や学校の実態等に応じ、家庭や地域の人々の協力を得るなど家庭や地域社会との連携を深めること。また、小学校間、幼稚園や保育所、中学校及び特別支援学校などとの間の連携や交流を図るとともに、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習や高齢者などとの交流の機会を設けること。

このような動きを受けて、台東区ではそれまでの「幼・小・中連携の日」を、平成21年度から新たに「連携の日」とし、取り組みを強化して実施している。

連携の日の充実

- ・幼稚園・保育園と小学校、小学校と中学校の滑らかな接続、12年間の教育の連続性、地域に根ざした教育について考える日と位置づけて、年2回実施。
- ・中学校の学区域内にある幼稚園・保育園・小学校を「中学校連携ファミリー」としてグループ化し、連携に取り組む。
- ・平成22年度から私立幼稚園・保育園、こども園も参加。
- ・中学校連携ファミリーは、「連携の日」に限らず日常的に協力し、連携の強化を図っている。

「連携の日」の取り組み例

保育公開、授業公開（全学級または一部の学級）

協議会（全体会、分科会）

合同実技研修（環境教育、理科、体育、芸術系教科 等）

合同研修会（講演会、フィールドワーク、地域財産活用、実践報告会 等）

幼児教育共通カリキュラムの普及・活用

カリキュラムの活用を推進していくため、教育支援館の統括指導主事や専門スタッフ（元校長）が実践推進訪問として、教育・保育現場に出向き、授業（保育）観察のうえ、意見交換などの協議を行う。

また、カリキュラムを理解するための研修や音楽や運動などの実技指導研修を充実させることにより、教員や保育者の指導力・実践力を高めていく。

(6) 地域の子育て支援

少子化や都市化によって、同年代や年齢の異なる仲間と遊ぶ場や機会が減少してきたこと、男女共同参画の進展や核家族化によって、保護者が子育てに関して幼稚園等に求める事柄が増えてきたことなどを背景に、幼稚園・保育園・こども園で子育て支援活動が様々な形で行われている。

今後も、地域や保護者のニーズに対応し、幼児の健やかな成長を保障する活動として、より充実した子育て支援活動を実施していくことが必要である。

区立幼稚園・保育園・こども園 子育て支援事業実施状況

区立幼稚園では、未就園のこどもと保護者を対象に月1回程度の割合で、こどもや保護者同士の交流の場の提供や子育ての相談などを目的として未就園児の会を実施している。また年に3回、教育支援館の研修支援専門員に依頼し、講話や子育てについてのアドバイス・相談も実施している。

・未就園児の会

23年度 実施回数 (予定)	23年度参加数 (12月実施分まで)	実施内容(例)
11園平均 年間10回	11園平均 18組	<ul style="list-style-type: none"> 制作(材料を用意して、こどもと保護者が遊具を作って遊ぶ) リズム体操 紙芝居の読み聞かせ 水遊び(夏季) 運動会の参加

区立保育園では、子育て中の親子を対象に、親子で過ごせる場所及び相互交流・子育ての不安や悩み相談の場の提供や子育てに必要な情報発信等を目的として、区立保育園合同で「子育て広場」を年3回開催している。

・合同子育て広場

実施回数	平均参加者数	事業実施内容
5月・7月 ・11月 年3回	43組	<ul style="list-style-type: none"> 絵本コーナー、手作りおもちゃコーナー、健康・栄養・相談コーナー等の設置 大型絵本の読み聞かせ 手遊び ・ リズム体操 他

このほか各園においても、在園児との交流や子育て相談(来所・電話)等を実施。

こども園では、未就園の子どもと保護者を対象に月1回程度の割合で、子どもや保護者同士の交流の場の提供や子育ての相談などを目的として未就園児の会を実施している。このほか、子育て相談や講演会の開催等も実施している。

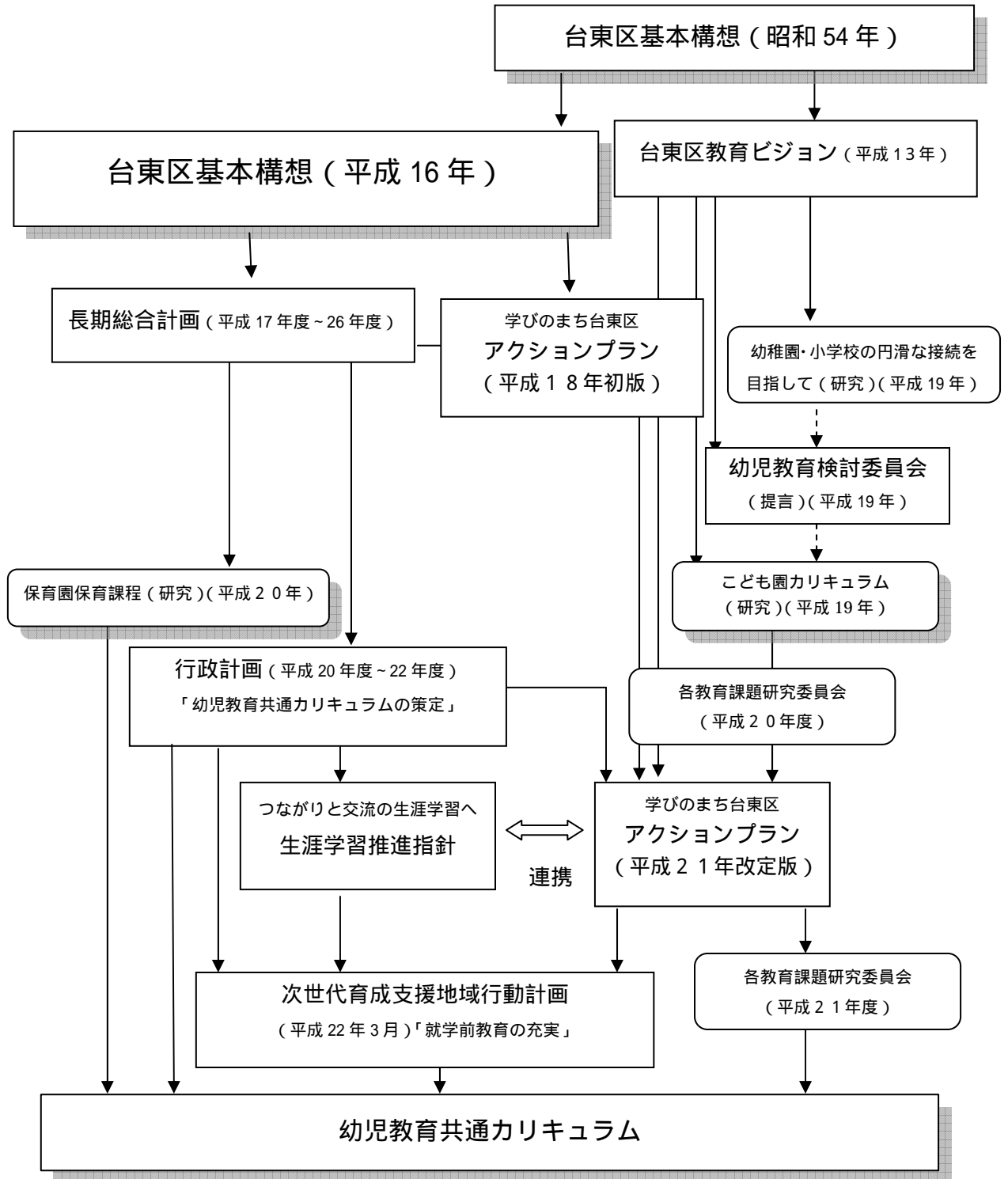
・未就園児の会

23年度 実施回数 (予定)	23年度参加数 (12月実施分まで)	実施内容(例)
2園平均 年間11回	2園平均 20組	<ul style="list-style-type: none"> ・制作 ・リズム体操 ・手遊び ・紙芝居(大型絵本)の読み聞かせ ・水遊び(夏季) ・運動会の参加 ・在園児との交流 他

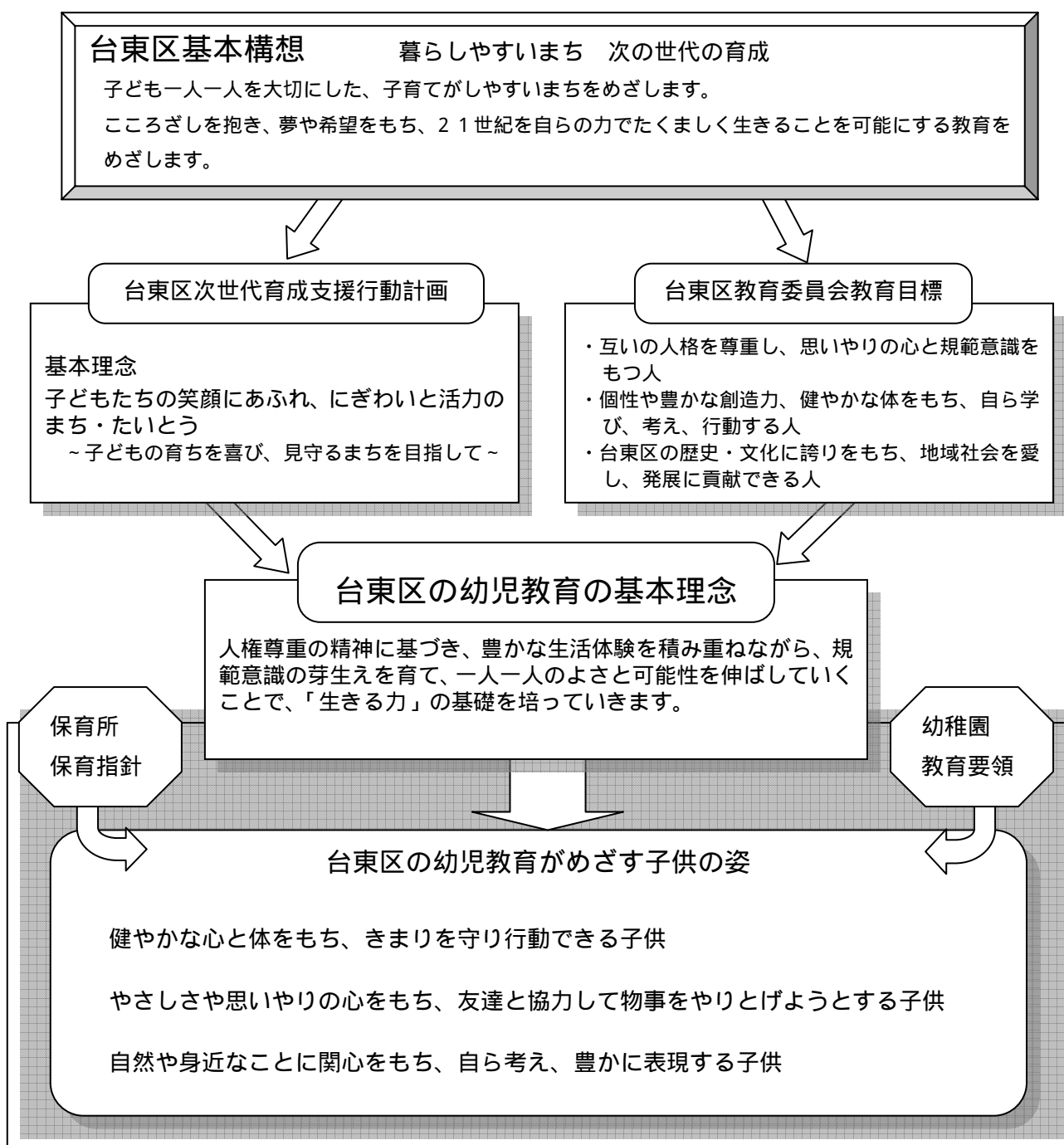
3. 台東区の就学前教育・保育の基本的な考え方

「台東区幼児教育共通カリキュラム」より

台東区の幼児教育の位置付け



台東区の幼児教育の基本理念とめざす子供の姿



台東区幼児教育共通カリキュラムの策定について

1 策定の趣旨

幼稚園や保育園等がこれまでの成果を生かし、それぞれのもつ教育機能の拡充や相互の連携を深め、家庭教育を含めた就学前の教育の質の向上を図ることが重要であるとの考えに基づき、公立・私立、幼稚園・保育園・こども園の枠を超え、共通の考え方に立った教育を進めるとともに、保護者の子育て支援のさらなる充実や小学校教育との円滑な接続を図るために、平成23年1月に台東区独自の「台東区幼児教育共通カリキュラム ちいさな芽」を策定した。

平成22年度は5歳児10月から小学校第1学年1学期までの接続期に焦点を当て、さらに平成23年度は3歳から5歳9月までの指導計画や保育事例について検討し、連続性あるカリキュラムとして増補版を策定した。

2 カリキュラムの内容

(1) 台東区幼児教育共通カリキュラム「小さな芽」

構成

- ・ 就学前の教育の充実が求められる背景
- ・ 台東区の幼児教育の基本理念
- ・ 台東区のめざす子供像
- ・ 小学校入学までに育てたい心情・意欲・態度
- ・ 幼児教育から小学校教育への円滑な接続のために重視する点
- ・ 台東区の特色や課題に対応した教育活動
 - 「規範意識の芽生えの育成」「こころざし教育」「食育」「体力の向上」
 - 「生活習慣・学習習慣の共通化と段階化」「地域財産の活用や文化的活動の取り込み」等

特色と期待される効果

特色	期待される効果
「生活」「人とのかかわり」「学び」の柱に分けて幼児期から小学校入門期の指導の流れを整理	小学校への接続が一層意識された幼児教育と、小学校生活への円滑な適応を図る入門期の教育の実現
3つの柱ごとに小学校入学までの到達目標を具体的に例示	子供の育ちを保護者と教職員が共有できる分かりやすい幼児教育の実施と、家庭における保護者の役割の明確化
教育委員会及び区内の学校園の研究成果や啓発資料を総括	公立・私立、幼稚園・保育園・こども園の枠を超え、「台東区の子供」を共通の考え方で育てていく幼児教育の実現
地域の伝統・文化に親しむ教育や、こころざし教育の重視	地域の特色を生かした教育活動を展開する中で、台東区の歴史・文化に誇りを持ち、地域社会を愛し、発展に貢献できる人を育成

(2) 「台東区幼児教育共通カリキュラム 増補版」

構成

- ・ 幼児教育共通カリキュラムを活用した保育・教育課程の編成
 - ・ 3歳児からの発達の特徴と育ちの連続性
 - ・ 3歳児からの年間指導計画と保育、交流活動及び保護者連携の事例
 - ・ 台東区の伝統、歴史、文化や、今日の教育課題を重視した取組事例
- 増補版の策定委員には公設民営こども園と私立幼稚園・保育園の教職員(6名)が参加

3 これまでの実践推進の取組について

平成22年12月	教職員対象の説明会(第1回)を開催
平成23年1月	「台東区幼児教育共通カリキュラム ちいさな芽」を配布 対 象 区内の公立・私立の幼稚園・保育園・こども園の全教職員 区立小学校の全教員 子ども家庭支援センター等 関係諸機関の職員
2月	教職員対象の説明会(第2回)を開催
3月	「台東まなびタイムズ 大輪」に“特集「幼児教育」の充実”を掲載
4月	家庭向けリーフレット「育てよう ちいさな芽」を配布 対 象 区内の公立・私立の幼稚園・保育園・こども園の全保護者 未就園児の保護者(保健所、子ども家庭支援センター等を通じて)
5月	小学校対象「ちいさな芽実践推進訪問」を実施 【教育支援館所管】 ・ 統括指導主事、教員系職員(幼稚園籍及び小学校籍)が訪問 ・ 第1学年の授業を観察して学級担任と協議を行う 小学校7校を会場に「幼・保・小 連携の日」を開催 【指導課所管】 ・ 小学校教員と区内の公立・私立の幼稚園・保育園・こども園の教職員が授業を参観し、合同意見交換会を実施
8月	幼稚園・保育園・こども園の合同研修会を実施 【教育支援館所管】 ・ 子どもの体力づくりのための実技研修 ・ 「ちいさな芽」に基づく小学校入門期の実践事例研修
9月	幼稚園・保育園・こども園の合同園長研修会を実施【教育支援館所管】 ・ 園経営の組織マネジメントについての演習
10月	幼稚園・保育園・こども園対象「ちいさな芽実践推進訪問」 【教育支援館所管】 ・ 統括指導主事、教員系職員(幼稚園籍及び小学校籍)が訪問 ・ 5歳児の保育を観察して担任と協議を行う ・ 前期の小学校訪問のまとめを小冊子にして還元
12月	教職員対象の増補版説明会を開催
平成24年1月	「台東区幼児教育共通カリキュラム ちいさな芽増補版」の配布
4月以降	実践事例の収集を中心とした継続的な改訂作業部会の開催 実践推進訪問の実施 幼稚園・保育園・こども園教職員の合同研修会の充実